

八尾市高齢者保健福祉計画の実施状況

第8期事業計画：令和4年度（2022年度）～令和5年度（2023年度）
第9期事業計画：令和6年度（2024年度）9月末現在

令和7年（2025年）2月

【目 次】

1. 認知症対策と高齢者の権利擁護の推進	1
2. 見守りネットワークと相談体制の強化	5
3. 健康づくりと介護予防の推進	9
4. 社会参加の促進	12
5. 介護サービスの基盤整備	14

1. 認知症対策と高齢者の権利擁護の推進

(1) 認知症ケアに対するサービスの充実

□ 主な事業の実施内容

事業名		内容
家族介護支援事業	家族介護教室	要介護高齢者と同居する家族等に対して在宅介護に必要な知識の伝達と技術の支援を行います。
認知症総合支援事業	やおオレンジカフェ（認知症カフェ）登録制度	認知症の本人とその家族、地域住民、専門職等の誰もが自由に参加し、気軽に相互交流や相談等ができる地域に開かれた集いの場として、介護者の負担軽減を図り、認知症の本人とその家族を支える地域づくりを促進します。
	認知症ケアパス	認知症の本人ができる限り住み慣れた自宅で暮らし続け、また認知症の本人やその家族が安心できるよう、認知症ケアパス（認知症の状態に応じた適切なサービス提供の流れ）の普及啓発を行います。
	認知症地域支援推進員	地域の実情に応じて医療機関、介護サービス事業者や地域の支援機関をつなぐ連携支援や認知症の本人とその家族の思いや意見を聴き、相談業務や講座等の充実を図ります。
	徘徊高齢者家族支援	高齢者が徘徊した場合に、事前に登録された情報をもとに関係機関への発見の協力依頼やGPSシステムによる位置探索サービスの利用支援を行います。
	認知症初期集中支援チーム	認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けられるために、認知症の本人やその家族に早期に関わり、早期診断・早期対応に向けた支援体制を推進します。
	若年性認知症対策	若年性認知症の本人やその家族が、心身を健康に保ち、安定した生活が送れるよう、専門相談や対応が受けられる体制を推進します。

□ 実施状況

		第8期高齢者保健福祉計画		第9期計画	
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
		(2022年度)	(2023年度)	計画値	(2024年9月末現在)
家族介護教室	開催回数	113回	110回	90回	47回
	延べ参加者数	1,138人	1,342人	1,200人	662人
やおオレンジカフェ (認知症カフェ)	登録数	12箇所	12箇所	12箇所	12箇所
	延べ参加者数	395人	677人	500人	418人
オレンジパートナー養成講座		34人	45人	40人	45人
認知症初期集中支援チームの延べ対応件数		113件	122件	120件	79件
徘徊高齢者家族支援事業登録者数		226人	203人	350人	209人

（２）認知症についての理解の促進

□ 主な事業の実施内容

事業名		内容
認知症総合支援事業	認知症に関する啓発	高齢者の家族やまわりの人びとが、認知症に対する正しい知識を持ち、理解が深まるように、パンフレットや広報による啓発、認知症の本人や家族も参加した認知症に関する講演会や教室等の開催を行います。
	認知症サポーター養成	地域住民が認知症サポーターとなり、認知症への理解を深めることにより、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるよう地域の見守り体制の支援につなげます。

□ 実施状況

	第８期高齢者保健福祉計画		第９期計画	
	令和４年度	令和５年度	令和６年度	
	(2022年度)	(2023年度)	計画値	(2024年９月末現在)
認知症サポーター人数（累計）	16,544人	17,702人	17,400人	18,113人
〈うち児童生徒の累計人数〉	(5,748人)	(6,545人)	(5,950人)	(6,680人)
オレンジパートナー養成者数	34人	45人	40人	45人

（３）認知症高齢者の社会参加の推進

□ 主な事業の実施内容

事業名		内容
家族介護支援事業	家族介護教室	要介護高齢者と同居する家族等に対して在宅介護に必要な知識の伝達と技術の支援を行います。また、認知症の人や家族からの意見を聴き、社会参加につながる活動を推進します。
認知症総合支援事業	やおオレンジカフェ（認知症カフェ）登録制度	認知症の本人とその家族、地域住民、専門職等の誰もが自由に参加し、気軽に相互交流や相談等ができる地域に開かれた集いの場として、介護者の負担軽減を図り、認知症の本人とその家族を支える地域づくりを促進します。
	認知症ケアパス	認知症の本人ができる限り住み慣れた自宅で暮らし続け、また認知症の本人やその家族が安心できるよう、認知症ケアパス（認知症の状態に応じた適切なサービス提供の流れ）の普及啓発を行います。

□ 実施状況

		第 8 期高齢者保健福祉計画		第 9 期計画	
		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
		(2022年度)	(2023年度)	計画値	(2024年 9 月末現在)
家族介護教室	開催回数	113回	110回	90回	47回
	延べ参加者数	1,138人	1,342人	1,200人	662人
やおオレンジカフェ（認知症カフェ）	登録数	12箇所	12箇所	12箇所	12箇所
	延べ参加者数	395人	677人	500人	418人

（４）高齢者の虐待防止に向けた取り組みの強化

□ 主な事業の実施内容

事業名	内容
高齢者あんしんセンター（地域包括支援センター） 運営事業（権利擁護事業）	高齢者虐待、消費者被害の防止及び対応、認知症等により判断能力が低下した人への支援等、高齢者の主体性や尊厳を守り、住み慣れた地域での生活を継続するために、高齢者あんしんセンターにおける権利擁護相談や支援を行います。
重層的支援体制整備事業 【つなげる支援室】	「八尾市重層的支援体制整備事業実施計画」に基づき、分野ごとの支援のみでは取り残してしまうような8050問題やヤングケアラー等の複合的な課題を含む世帯に対して、各分野の支援者と連携し包括的支援を実施するため、つなげる支援室が中心となり、総合的な調整を行います。

□ 実施状況

		第 8 期高齢者保健福祉計画		第 9 期計画	
		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
		(2022年度)	(2023年度)	計画値	(2024年 9 月末現在)
権利擁護事業の延べ相談対応件数		3,835件	3,736件	4,060件	2,063件
高齢者虐待レビュー会議開催回数		20回	20回	20回	10回

(5) 権利擁護のための取組みの充実

□ 主な事業の実施内容

事業名	内容
権利擁護推進事業	中核機関である八尾市社会福祉協議会権利擁護センター「ほっとネット」において、権利擁護支援を行う地域連携ネットワーク「ほっとかれへんネットワーク」の司令塔として、権利擁護に関する総合的な支援を行います。また、権利擁護支援が必要な人がますます増加することに対応するため、市民として地域で後見活動を行う「市民後見人」の養成支援を行います。
成年後見制度利用支援事務	認知症や障がい等により判断能力が不十分な人の権利を守るための成年後見制度について、情報提供や相談対応等の利用支援を行います。また、申立てできる親族がいない人について市長による申立てを行います。
法人後見事業 【八尾市社会福祉協議会】	八尾市社会福祉協議会等が、家庭裁判所の選任により、法人として後見人等に就任し、認知症や障がい等により判断能力が不十分な人の財産管理や身上監護を行い、本人の権利を擁護します。
市民後見人推進事業 【八尾市社会福祉協議会】	親族以外で後見業務を行う第三者後見人の新たな担い手として、身近な市民という立場で後見活動を行う市民後見人を養成し、適切に活動できるよう支援します。また、市民後見人バンク登録者や市民後見人OB等の活躍できる場の創出に取り組みます。
日常生活自立支援事業 【八尾市社会福祉協議会】	認知症や障がい等により判断能力が不十分な人について、契約により本人に代わって生活支援員が福祉サービスの利用手続きや日常の金銭管理を行います。

□ 実施状況

	第8期高齢者保健福祉計画		第9期計画	
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	(2022年度)	(2023年度)	計画値	(2024年9月末現在)
成年後見制度市長申立て件数	7件	6件	16件	5件
市民後見人バンク登録者数 【八尾市社会福祉協議会】	31人	30人	50人	34人
法人後見受任件数 【八尾市社会福祉協議会】	2件	2件	5件	2件
日常生活自立支援事業 【八尾市社会福祉協議会】	165件	177件	171件	173件

2. 見守りネットワークと相談体制の強化

(1) 高齢者あんしんセンターの体制の強化

□ 主な事業の実施内容

事業名	内容
高齢者あんしんセンター（地域包括支援センター） 運営事業	中学校毎に設置し、保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員（主任ケアマネジャー）等の専門職が高齢者自身やその家族等からの相談に応じ、要介護状態になるおそれのある高齢者のマネジメントや虐待・権利擁護への対応、困難事例の調節、ケアマネジャーへの助言等を行います。また、要支援者に対する介護予防支援事業を実施します。
重層的支援体制整備事業 【つなげる支援室】	「八尾市重層的支援体制整備事業実施計画」に基づき、分野ごとの支援のみでは取り残してしまうような8050問題やヤングケアラー等の複合的な課題を含む世帯に対して、各分野の支援者と連携し包括的支援を実施するため、つなげる支援室が中心となり、総合的な調整を行います。

□ 実施状況

	第8期高齢者保健福祉計画		第9期計画	
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	(2022年度)	(2023年度)	計画値	(2024年9月末現在)
高齢者あんしんセンターの延べ相談件数	49,618件	52,129件	50,000件	25,185件

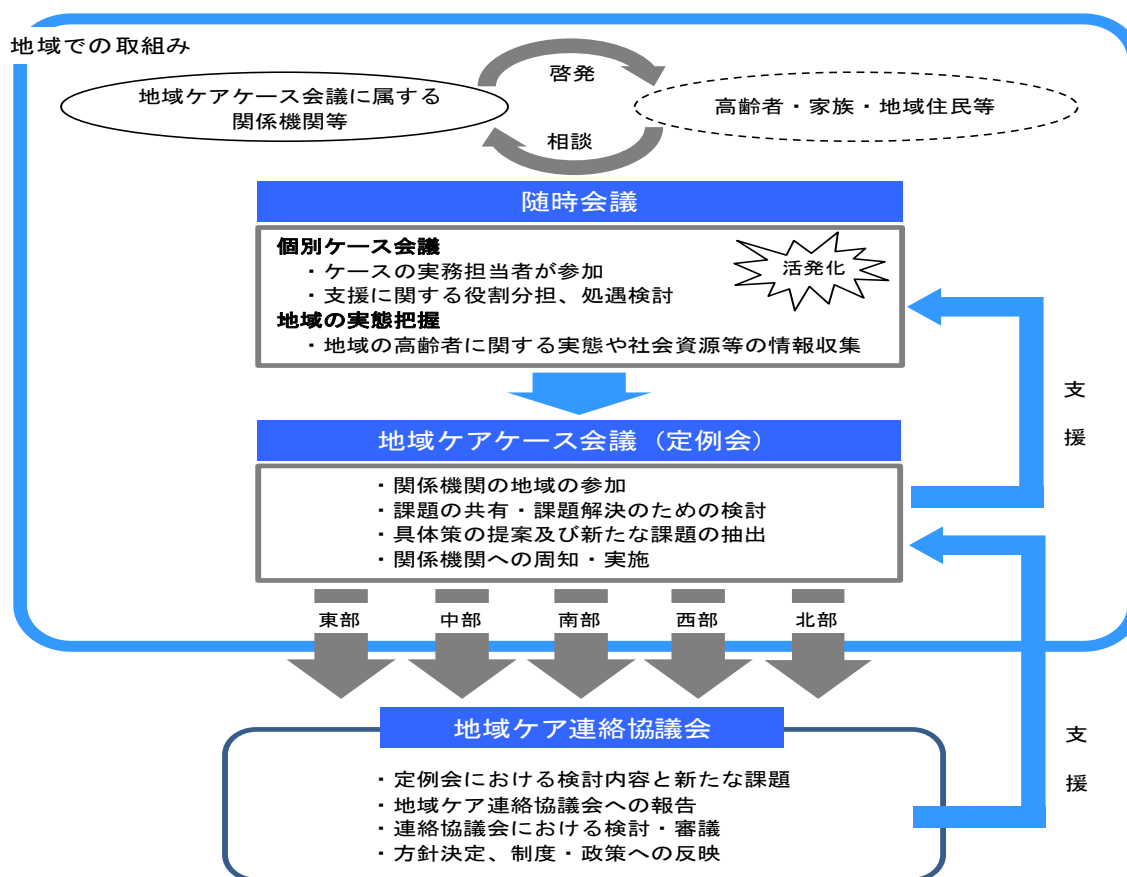
(2) 地域ケア会議の充実

□ 主な事業の実施内容

事業名	内容
高齢者あんしんセンター（地域包括支援センター）運営事業（包括的・継続的ケアマネジメント業務）	高齢者が暮らしやすい地域づくりのために、医療機関や行政その他の関係機関との連携体制づくりを進めます。
地域ケア会議推進事業	介護予防・生活支援の観点から、要介護となるおそれのある高齢者及び要介護高齢者等を対象に、保健・福祉・医療及び地域との円滑な調節を図りながら、効果的な介護予防・生活支援サービスの総合調節を推進します。

□ 実施状況

	第8期高齢者保健福祉計画		第9期計画	
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	(2022年度)	(2023年度)	計画値	(2024年9月末現在)
地域ケア会議開催回数	125回	153回	167回	66回
連絡協議会(全体会議)	2回	2回	2回	1回
ケース会議(地域別会議)	123回	151回	165回	65回
〈うち随時会議〉	〈 101回〉	〈 129回〉	〈143回〉	〈 54回〉



(3) 地域における見守り体制の強化

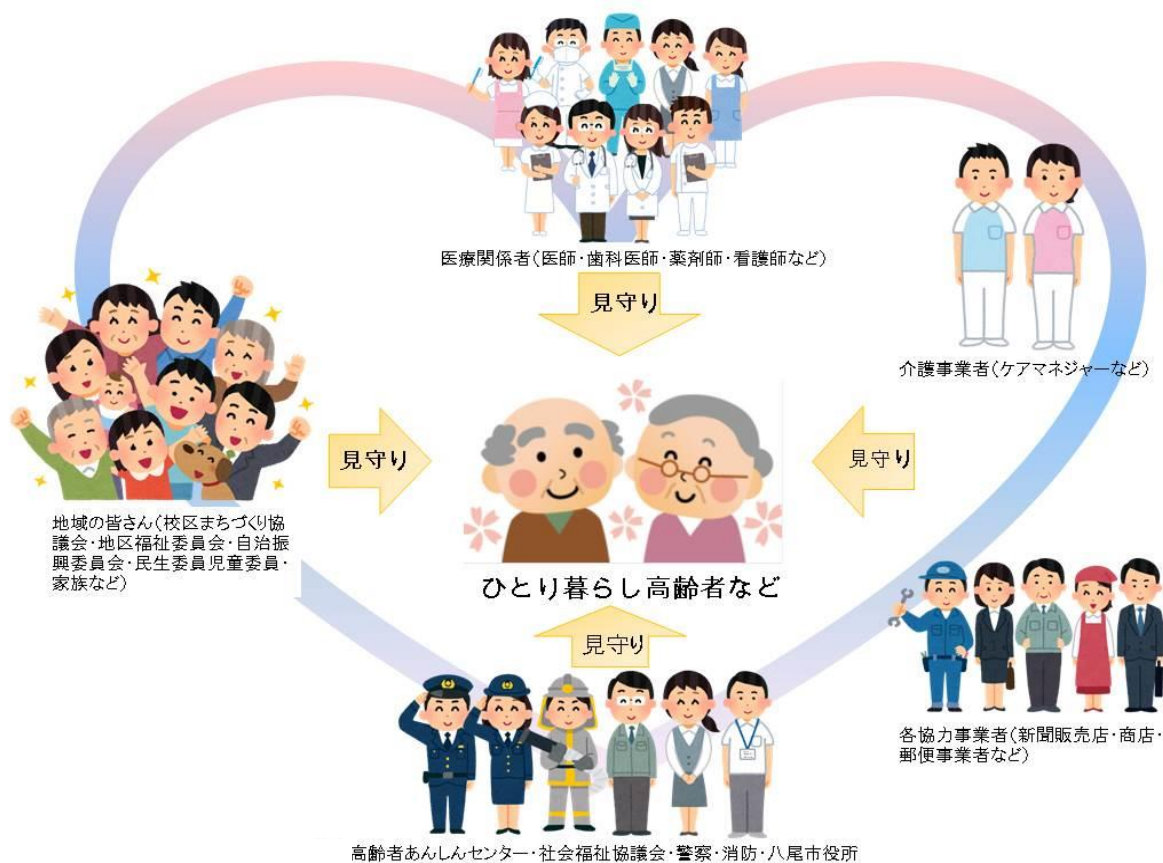
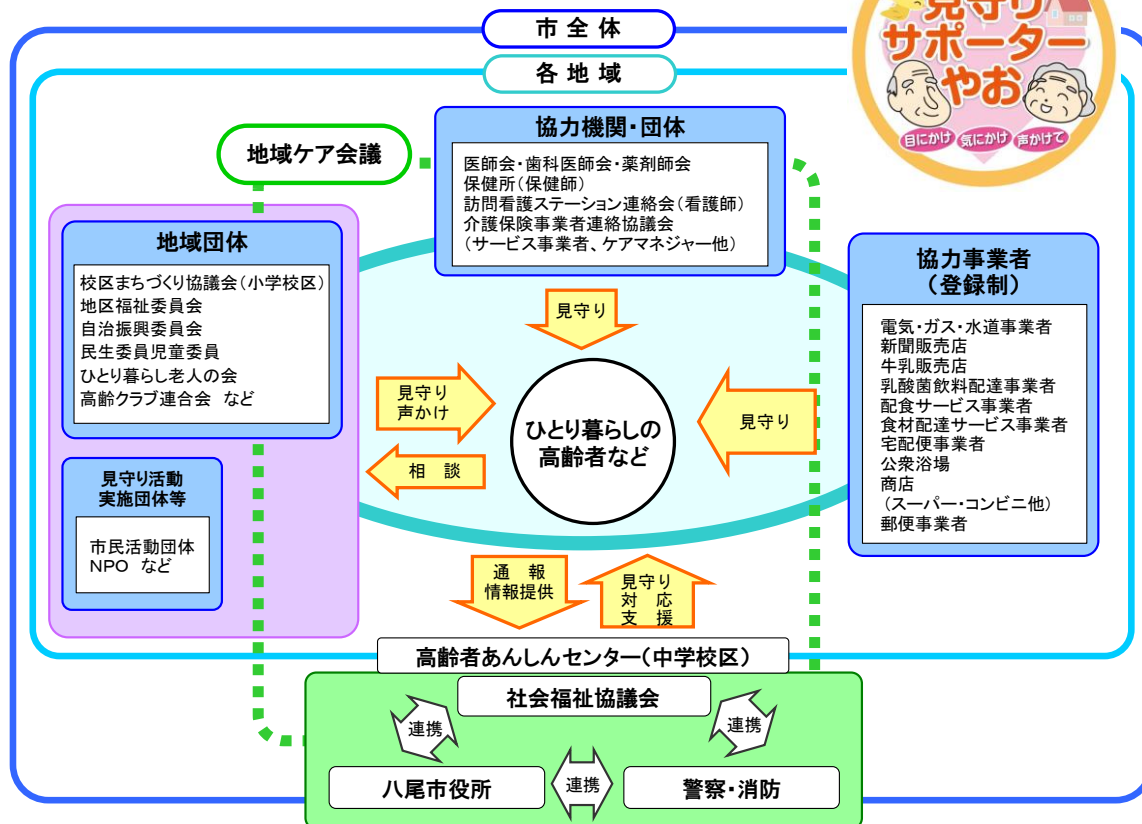
□ 主な事業の実施内容

事業名	内容
見守りネットワーク推進事業	日常的に地域で活動するさまざまな事業者による、日常業務での「気づき」を通じた高齢者の見守り体制の強化を図るとともに、見守り活動に役立つ情報提供や研修を幅広く行い、効果的かつ確実な見守り活動に向けた支援を進めます。
高齢者あんしんセンター（地域包括支援センター）運営事業	高齢者の総合相談窓口として相談に応じ、関係機関や見守り協力事業者等からの通報や情報提供があれば、必要に応じ地域団体や協力機関等と連携をとりながら高齢者やその家族を支援します。
小地域ネットワーク活動 【八尾市社会福祉協議会】	小地域（おおむね小学校区）を単位として、地区福祉委員会を中心としながら要援護者一人ひとりを対象に、保健・福祉・医療等の関係者と住民が協働して進める見守り・援助活動を行います。
当事者組織活動支援 【八尾市社会福祉協議会】	高齢者が地域で孤立しないように、当事者による「介護者（家族）の会」や「ひとり暮らし老人の会連絡会（いちようの会）」の活動への支援を行います。
災害時要配慮者支援	「八尾市災害時要配慮者支援指針」に基づき、要介護認定者等の避難行動要支援者名簿を作成するとともに、地域団体や介護サービス事業所等との情報共有等、地域や介護サービス事業者と連携した要配慮者支援体制を構築し避難支援の実効性を高めます。 また、災害時における民間の社会福祉施設と協力し、円滑な避難の確保を図ります。
居住支援連携体制構築促進事業 【地域共生推進課】	高齢者や障がい者、低額所得者、子育て世帯、外国人等の住宅確保要配慮者が安心して住まいを確保できるよう、地域の実情に応じた多様な居住支援体制の構築を促進する。

□ 実施状況

	第8期高齢者保健福祉計画		第9期計画	
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	(2022年度)	(2023年度)	計画値	(2024年9月末現在)
見守り活動への協力事業者数（累計）	655件	658件	725件	557件
同意者リスト活用小学校区数	4校区	5校区	10校区	2校区

高齢者見守りサポーターやお ー八尾市高齢者見守りネットワーク



3. 健康づくりと介護予防の推進

(1) 地域における健康づくりの推進

□ 主な事業の実施内容

事業名		内容
地域健康づくり支援事業		「八尾市健康まちづくり計画～健康日本21八尾計画及び八尾市食育推進計画～」に基づき、校区まちづくり協議会等と連携しながら、地域における保健活動を展開します。
介護予防普及啓発事業		介護予防の啓発・社会参加の促進を目的としたイベント開催やパンフレットの作成・配布を行うほか、地域拠点や地域の集会所等において運動・認知症予防等をテーマとして教室を開催します。
地域介護予防活動支援事業	介護予防教室	身近な地域にある高齢者あんしんセンター等において介護予防教室を実施し、高齢者ができる限り要介護状態に陥ることなく健康でいきいきとした生活を送れるよう支援します。
	シルバーリーダー養成	シルバーリーダー養成事業として、地域での介護予防活動をはじめ、地域活動やボランティア活動を行う上で必要とされる知識や技能の習得ができるようにさまざまな分野の講座を開催します。
	自主活動立ち上げ支援	「河内音頭健康体操」等を通して集まった自主グループが身近な地域で継続的に介護予防に取り組めるよう、サポーターの養成や通いの場の創出、自主活動支援等の側面的支援を行います。

□ 実施状況

			第 8 期高齢者保健福祉計画		第 9 期計画	
			令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
			(2022年度)	(2023年度)	計画値	(2024年 9 月末現在)
介護 予 防 教 室 等	介護予防事業実施人数		858人	1,127人	1,650人	798人
	地域型介護予防教室（高齢者あんしんセンター）	実施回数	257回	293回	240回	160回
		延べ参加者数	3,164人	4,366人	2,400人	2,371人
シルバーリーダー養成講座修了者数			33人	29人	60人	29人

(2) 疾病予防と重症化予防の推進

□ 主な事業の実施内容

事業名	内容
各種健（検）診事業【健康推進課】	生活習慣病をはじめとする疾病の予防や早期発見を目的とし、がん検診、特定健診、歯科健診、骨密度検査などの各種健（検）診を委託医療機関や保健センター等において実施します。
健康相談【健康推進課】	心身の健康、栄養・食生活、運動、健診（健康診断）の結果や医療機関の受診、フレイル予防に関すること等、個別の相談に応じ必要な指導及び助言を、電話、来所面接、オンライン等により実施します。

事業名	内容
健康教育【健康推進課】	生活習慣病の予防、その他健康に関することについて、正しい知識の普及を図るため、健康教室を開催します。また、八尾市民を中心とする5名以上の地域の団体・グループに対し、健康づくりを支援するため出前講座を実施します。

□ 実施状況

	第8期高齢者保健福祉計画		第9期計画	
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	(2022年度)	(2023年度)	計画値	(2024年9月末現在)
健康相談（65歳以上）	2,250人	3,228人	2,337人	559人
健康教育（65歳以上）	2,369人	3,050人	2,550人	971人

（３）介護予防の推進

□ 主な事業の実施内容

事業名	内容
介護予防普及啓発事業	介護予防の啓発・社会参加の促進を目的としたイベント開催やパンフレットの作成・配布を行うほか、地域拠点や地域の集会所等において、運動・認知症予防等をテーマとした教室を開催します。
	介護支援ボランティア制度 ボランティア活動を通して社会活動に参加することにより、自らの介護予防に取り組んでいけるよう支援します。
地域介護予防活動支援事業【再掲】	介護予防教室 身近な地域にある高齢者あんしんセンター等において介護予防教室を実施し、高齢者ができる限り要介護状態に陥ることなく健康でいきいきした生活を送れるよう支援します。
	シルバーリーダー養成 シルバーリーダー養成事業として、地域での介護予防活動をはじめ、地域活動やボランティア活動を行う上で必要とされる知識や技能の習得ができるようにさまざまな分野の講座を開催します。
	自主活動立ち上げ支援 「河内音頭健康体操」等を通して集まった自主グループが身近な地域で継続的に介護予防に取り組めるよう、サポーターの養成や通いの場の創出等の側面的支援を行います。
介護予防・生活支援サービス事業	要支援者等を対象に、従来の介護予防訪問介護や介護予防通所介護に相当するサービスに加えて、緩和した基準による生活援助サービスをはじめとした多様なサービスの提供を図ります。
介護予防把握事業	地域の実情に応じ、効果的かつ効率的に収集した情報等を活用して、閉じこもり等の支援を要する人を早期に把握し、住民主体の介護予防活動につなげるよう努めます。
一般介護予防事業評価事業	目標値の達成状況等の検証を通じ、一般介護予防事業を含め、地域づくりの観点から総合事業全体を評価し、その評価結果に基づき事業全体の改善を図ります。
地域リハビリテーション活動支援事業	地域における介護予防の取り組みを強化するために、リハビリテーション専門職等を活かした自立支援に資する取り組みを推進します。

□ 実施状況

				第 8 期高齢者保健福祉計画		第 9 期計画	
				令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
				(2022年度)	(2023年度)	計画値	(2024年 9 月末現在)
介護 予 防 教 室 等	介護予防事業実施人数			858人	1,127人	1,650人	798人
	高齢者ふれあいサロン参加延べ人数			1,493人	2,617人	10,000人	2,927人
	地域型介護予防教室（高齢者あんしんセンター）	実施回数	257回	293回	240回	160回	
		延べ参加者数	3,164人	4,366人	2,400人	2,371人	
シルバーリーダー養成講座修了者数				33人	29人	60人	29人
介護予防サポーター人数				86人	98人	130人	109人
生活援助サービス従事者研修修了者数				51人	32人	72人	5人

（４）介護予防・生活支援サービス事業の推進

□ 主な事業の実施内容

事業名		内容
訪問型サービス	訪問介護相当	専門職によるサービス提供が必要な人に対して、従来、提供されてきた介護予防訪問介護と同等のサービスとして、訪問型サービスを提供します。
	緩和した基準	身体介助等を必要としない人に対して、訪問による生活援助サービスを提供します。サービス提供事業者のすそ野を広げ、福祉現場で働く機会を増やし、新たなサービスに向けた従事者養成研修を通じて、福祉分野で働く「きっかけづくり」と福祉現場で働き続ける意欲を高めます。
	住民主体型	シルバー人材センターに登録している会員により身体介助等を必要としない生活支援サービスを提供できる仕組みを構築し、利用者のサービス選択の幅を広げることで利用者のサービス向上につなげます。
通所型サービス	通所介護相当	専門職によるサービス提供が必要な人に対して、従来、提供されてきた介護予防通所介護と同等のサービスとして、通所型サービスを提供します。
	短期集中型	集中介入期に相当する人に対して、訪問により自宅や自宅周辺の環境を評価して生活機能の低下要因を把握した上で、理学療法士または作業療法士、運動指導士（健康運動指導士、健康運動実践指導者・介護予防運動指導員）、栄養士等の専門スタッフによるリハビリを行い、短期集中的に機能回復を図って体力・気力の向上により活動性を高めます。

	住民主体型	身近な地域の通いの場である街かどデイハウスにおいて、住民主体による通所型サービスとして高齢者の閉じこもり予防や介護予防に資する柔軟できめ細やかなサービスを提供します。
介護予防ケアマネジメント		高齢者あんしんセンター職員が本人や家族と話し合い、自立に向けた目標の達成に取り組んでいけるよう、介護予防の取組みや適切なサービスの利用を支援し、ケアプランの作成を行います。

□ 実施状況

		第8期高齢者保健福祉計画		第9期計画	
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
		(2022年度)	(2023年度)	計画値	(2024年9月末現在)
訪問型サービス	訪問介護相当利用件数	7,965件	7,725件	9,245件	3,995件
	緩和した基準利用件数	201件	160件	238件	66件
	住民主体利用人数	6人	7人	10人	8人
通所型サービス	通所介護相当利用件数	17,787件	19,891件	19,937件	10,754件
	短期集中利用人数	41人	43人	60人	16人
	住民主体延べ利用人数	9,173人	13,549人	20,000人	10,215人

4. 社会参加の促進

(1) 高齢者の社会参加の促進

□ 主な事業の実施内容

業名		内容
高齢者ふれあいサロン運営事業		高齢者の交流や情報交換の場としての常設型の高齢者ふれあいサロンの住民主体による運営を支援します。
高齢クラブ活動助成事業		高齢クラブ連合会及び各地区単位クラブの活動に対して助成金を交付するとともに、高齢クラブ連合会の活動を支援します。
地域介護予防活動支援事業	シルバーリーダー養成	シルバーリーダー養成事業として、地域での介護予防活動をはじめ、地域活動やボランティア活動を行う上で必要とされる知識や技能の習得ができるようにさまざまな分野の講座を開催します。
ボランティアセンターの運営 【八尾市社会福祉協議会】		ボランティアセンターにおいて、福祉ボランティアの登録やコーディネート、ボランティア講座・福祉教育の推進、ボランティア団体の支援等を行います。

シルバー人材センター事業		健康で働く意欲のある高齢者に就業の機会を提供するシルバー人材センターへの助成を行います。
老人福祉センター運営管理事業		高齢者等の福祉の増進を図るために、市内3箇所に老人福祉センターにおいて、健康増進、教養の向上、レクリエーションの場を提供します。
高齢者ふれあい農園事業		高齢者のいきがづくりを充実させるため、耕作を通じた農園活動を支援します。
介護予防普及啓発事業	介護支援ボランティア制度	ボランティア活動を通して社会活動に参加することにより、自らの介護予防に取り組んでいけるよう支援します。

□ 実施状況

	第8期高齢者保健福祉計画		第9期計画	
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	(2022年度)	(2023年度)	計画値	(2024年9月末現在)
老人福祉センター利用人数	50,929人	55,953人	91,000人	27,232人
八尾市立社会福祉会館老人福祉センター	20,825人	21,936人	40,000人	10,766人
桂老人福祉センター	10,306人	12,507人	16,000人	7,090人
安中老人福祉センター	19,798人	21,510人	35,000人	9,376人
高齢者ふれあいサロン参加延べ人数	1,493人	2,617人	10,000人	2,927人
高齢クラブ加入率(会員率/60歳以上人口)	5.8%	5.6%	9%	5.2%
シルバーリーダー養成講座修了者数	33人	29人	60人	29人

(2) 多様な生活支援サービスの充実

□ 主な事業の実施内容

事業名		内容
見守りネットワーク推進事業	緊急通報システム	対象者が急病や火災等の緊急時に緊急ボタンを押すことにより、受信センターに連絡が入り、状況確認、家族や近隣住民等の協力者への連絡及び出動員の派遣を行い、必要に応じて救急車の出動要請等の適切な対応を行います。
生活支援・介護予防サービスの体制整備事業		生活支援・介護予防サービス協議会の設置や生活支援コーディネーターの配置により、ボランティア等の生活支援の担い手の養成や関係者のネットワーク化等を図ります。
家族介護支援事業	家族介護用品支給	在宅での重度の要介護者を介護している低所得の家族に対し介護用品を現物支給します。

□ 実施状況

	第8期高齢者保健福祉計画		第9期計画	
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	(2022年度)	(2023年度)	計画値	(2024年9月末現在)
緊急通報システム設置数	667台	674台	740台	659台
生活支援・介護予防サービス協議会開催数	2回	2回	14回	0回
家族介護用品支給人数	221人	235人	250人	166人

5. 介護サービスの基盤整備

(1) 介護給付適正化の推進

□ 実施状況

	第8期高齢者保健福祉計画		第9期計画	
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	(2022年度)	(2023年度)	計画値	(2024年9月末現在)
要介護認定の適正化（更新及び区分変更申請の市職員による調査割合）	6.8%	4.7%	7.5%	0.9%
ケアプラン点検	269件	259件	230件	47件
住宅改修の適正化（住宅改修実態調査）	249件	250件	250件	126件
福祉用具購入・貸与調査	100%	100%	100%	100%
医療情報との突合・縦覧点検	6票	7票	6票	7票

(2) 介護サービスの環境整備と質の向上

(3) 在宅医療・介護の連携強化

□ 主な事業の実施内容

事業名		内容
認知症総合支援事業	認知症地域支援推進員	地域の実情に応じて医療機関、介護サービス事業者や地域の支援機関をつなぐ連携支援や認知症の本人とその家族を支援する相談業務等の充実を図ります。
	認知症初期集中支援チーム	認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けられるために、認知症の本人やその家族に早期に関わり、早期診断・早期対応に向けた支援体制を推進します。
在宅医療・介護連携推進事業	在宅医療・介護連携推進会議	在宅医療と介護の連携を推進し、多職種協働による包括的かつ継続的な在宅医療・介護の支援体制を推進します。
	在宅医療・介護連携相談窓口	地域の医療・介護関係者や地域包括支援センターから、在宅医療・介護連携に関する相談等を受け付け、連携調節整、情報提供等により、その対応を支援します。

	多職種連携研修会	地域の医療・介護関係者が、それぞれの専門性を理解し、「顔の見える関係づくり」を促進することで、専門職間のネットワーク構築を図ります。
地域ケア会議推進事業		介護予防・生活支援の観点から、要介護となるおそれのある高齢者及び要介護高齢者等を対象に、保健・福祉・医療及び地域との円滑な調節を図りながら、効果的な介護予防・生活支援サービスの総合調節を推進します。
在宅医療・介護連携推進事業	地域の医療・介護の資源の把握	介護サービス事業者の検索や医療情報のリンク集等から情報の閲覧ができるよう、市ホームページにて掲載します。 医療・介護関係者に対してツールや「緩和ケア・在宅医療リスト」等支援に必要な情報について周知及び共有を図ります。
	在宅医療・介護連携の課題の抽出	多職種協働による地域ケア会議や在宅医療・介護連携推進会議等の場で、在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策を検討します。
	切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進	在宅医療・介護の連携を推進し、多職種協働による包括的かつ継続的な在宅医療・介護の支援体制を推進します。
		認知症の本人やその家族に早期に関わり、早期診断・早期対応に向けた認知支援体制を推進します。
		冊子「病院とケアマネジャーとの連携を進めるために」や「入退院支援の手引き」等を活用し、退院時の在宅医療と介護の連携を進めます。
	在宅医療・介護連携に関する相談支援	大阪府や中河内二次医療圏内で連携し、課題の共有など広域連携が必要な事項について調節を行います。
		高齢者の総合相談窓口である高齢者あんしんセンターの周知を行います。 地域の医療・介護関係者から在宅医療・介護連携に関する相談等への対応や医療・介護関係者へ情報提供等を在宅医療・介護相談窓口にて行います。
	地域住民への普及啓発	地域住民が在宅医療や介護について理解し、在宅での療養が必要になったときに必要なサービスを適切に選択できるよう普及啓発を行います。
	医療・介護関係者の情報共有の支援	八尾市及び医師会、八尾市介護保険事業者連絡協議会が共同で作成した連携に必要な情報共有ツール（連絡票、居宅サービス情報提供書、意見照会書等）の利用促進を図ります。
	医療・介護関係者の研修	地域の医療・介護関係者の連携を実現するために、多職種連携研修会等を通じて多職種でのグループワークにおいて意見交換を行います。

□ 実施状況

	第8期高齢者保健福祉計画		第9期計画	
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	(2022年度)	(2023年度)	計画値	(2024年9月末現在)
認知症初期集中支援チームの延べ対応件数	113件	122件	120件	79件
在宅医療・介護連携推進会議開催数	1回	1回	2回	1回
在宅医療・介護連携に関する相談件数	42件	40件	40件	19件
地域ケア会議開催回数	125回	153回	167回	66回
連絡協議会	2回	2回	2回	1回

	ケース会議（地域別会議） 〈うち随時会議〉	123回 〈 101回〉	151回 〈 129回〉	165回 〈 143回〉	65回 〈 54回〉
	多職種連携研修会参加者数	44人 （動画視聴 62回）	65人	100人	9月末時点未実施